

参加チーム 各位

2017年8月22日
(一社)大阪府サッカー協会
大阪府フットサル連盟

第23回全日本フットサル選手権大会 大阪大会

大会実施要項

記

大会名称	第23回全日本フットサル選手権大会 大阪大会
日 程	予選グループリーグ : 9月16日(土) 9月24日(日) 1次グループリーグ : 9月30日(土) 10月1日(日) 10月15日(日) 決勝トーナメント : 10月28日(土) 10月29日(日) 11月12日(日) 11月25日(土)
会 場	予選グループリーグ : 大阪市立千島体育館、キンチョウスタジアム南練習室 1次グループリーグ : 大阪市立千島体育館、堺市原池公園体育館、 高槻市立古曽部防災公園体育館 決勝トーナメント : 大阪市立千島体育館、高槻市立総合体育館、 大阪市立東淀川体育館、岸和田市総合体育館
主 催	公益財団法人 日本サッカー協会
主 管	一般社団法人 大阪府サッカー協会
協 力	一般財団法人 日本フットサル連盟 大阪府フットサル連盟
参加資格	(1) 公益財団法人日本サッカー協会(以下、「JFA」とする。)に「フットサル1種」または「フットサル2種」の種別で加盟登録した単独のチームであること。 。 JFAに承認を受けたクラブを構成する加盟登録チームについては、同一クラブ内の他の加盟登録チームに所属する選手を、移籍手続きなしに参加させることができる。 (2) 第1項のチームに所属する2002年4月1日以前に生まれた選手であること。 男女の性別は問わない。 (3) 外国籍選手は1チームあたり3名までとする。 (4) 都道府県大会、地域大会を通して、選手は他のチームで参加していないこと。 役員は本大阪大会において、他のチームで登録されていないこと。 (5) 成人で、チームおよびチーム関係者の行動を掌握できる、引率者がいること。 (6) チームまたは個人でスポーツ傷害保険に加入していること。

参加チーム数 39 チーム

- 大会形式
- (1) グループリーグ（以下、GL）：シードチーム4チーム（昨年度成績上位チーム）を除く参加35チームを3チームずつ8グループに分けて1次GL戦または残る9チームにて予選GL戦を行う。ただし、次の条件を満たす10チームについては、1次GLから参加とする。
 - ① 前年度ベスト8
 - ② 代表者会議時点の関西、大阪府リーグの上位から、①+②=10チーム目まで
 - (2) 予選GL各グループ1位の3チームと、各グループ2位の最も成績が良かった1チームの計4チームが1次GLへ、1次GL各グループ1位の10チームが決勝トーナメントへ進出する。勝ち点は、勝ち3、引分け1、負け0とする。ただし、勝ち点合計が同じ場合は、以下の順序により決定する。
 - ① 当該チーム内の対戦成績
 - ② 当該チーム内の得失点差
 - ③ 当該チーム内の総得点数
 - ④ グループ内の総得失点差
 - ⑤ グループ内の総得点数
 - ⑥ 下記に基づくポイント合計がより少ないチーム
 - (ア) 警告1回 1ポイント
 - (イ) 警告2回による退場1回 3ポイント
 - (ウ) 退場1回 3ポイント
 - (エ) 警告1回に続く退場 4ポイント
 - ⑦ 抽選

※ 予選GL各グループ2位の3チームのうち、①勝ち点 ②得失点差 ③総得点 ④下記⑥記載のフェアプレーポイント ⑤抽選の順により決定される。
 - (3) 決勝トーナメント：1次GL各グループ1位の10チームに、シードされた4チームを加えた14チームによるノックアウト方式で行う。

競技規則 大会実施年度の「フットサル競技規則」による。

- 競技会規定
- (1) 競技者の数…競技者：5名
交代要員：予選GL・1次GL…7名以内
決勝トーナメント…9名以内
ピッチ上でプレーできる外国籍選手の数…2名以内
 - (2) チーム役員の数…3名以内
 - (3) 競技者の用具
 - ① ユニフォーム
 - (ア) フィールドプレーヤー、ゴールキーパーともに、色彩が異なり判別しやすい正副のユニフォーム(シャツ、ショーツ、ストッキング)を大会登録票に記載し、各試合には正副ともに必ず携帯すること。また、ゴールキーパーがトラウザーズを着用する場合、登録されたショーツと同一の色彩でなければならない。
 - (イ) チームのユニフォームのうち、シャツの色彩は審判員が着用する黒色と明確に判別しうるものでなければならない(黒色・紺色は認められない)。
 - (ウ) フィールドプレーヤーとして試合に登録された選手がゴールキーパーに代わる場合、その試合でゴールキーパーが着用するシャツと同一の色彩および同一のデザインで、かつ自分自身の背番号のついたものを着用

すること。

(エ) シャツの前面、背面に参加申込書に登録した選手番号を付けること。ショーツにも選手番号を付けることが望ましい。選手番号は服地と明確に区別し得る色彩であり、かつ判別が容易なサイズのものでなければならない。

(オ) 選手番号は1から99までの整数とし、0は認めない。1番はゴールキーパーがつけることとする。必ず、本大会の参加申込書に記載された選手固有の番号を付けること。

(カ) ユニフォームへの広告表示については、JFAの承認を受けている場合のみこれを認める。ただし、ユニフォーム広告表示により生じる会場等への広告掲出料等の経費は当該チームにて負担することとする。

(キ) その他、ユニフォームに関する事項については、JFAのユニフォーム規程(2016年4月1日施行)に則る。ただし、今回の規程で追加・変更となった内容のうち、以下は2019年3月31日まで旧規程による運用を許容する。

第5条〔ユニフォームへの表示〕 ※該当のみ抜粋

GK グローブ・キャップへのチーム識別標章・選手番号・選手名の表示・両肩・両脇・両袖口・両腰脇・両裾に表示できる製造メーカーロゴマークの幅(10cmから8cmに変更)・同一の製造メーカーロゴを帯状に配置する場合のロゴマーク間の距離

② 靴

キャンバス、または柔らかい皮革製で、靴底がゴム、または類似の材質で出来ており、接地面が紺色、白色、もしくは無色透明のフットサルシューズ、トレーニングシューズ、または体育館用シューズタイプのもの。

(スパイクシューズおよび靴底が着色されたものは使用できない。)

③ ビブス

交代要員は、競技者のシャツと異なる色のビブスを用意し、着用しなければならない。

試合時間

[グループリーグ]

30分間(前後半各15分間)のプレーイングタイムとし、ハーフタイムのインターバルは5分間(前半終了から後半開始まで)とする。

[決勝トーナメント]

40分間(前後半各20分間)のプレーイングタイムとし、ハーフタイムのインターバルは10分間(前半終了から後半開始まで)とする。

勝者の決定

試合時間内に勝敗が決しなかった場合、試合の勝者は以下の方法で決定する。

[グループリーグ]

引分け

[決勝トーナメント1回戦、準々決勝]

PK方式により勝敗を決定する。PK方式に入る前のインターバルは1分間とする。

[準決勝、決勝]

10分間(前後半各5分間)の延長戦を行い、決しない場合はPK方式により勝敗を決定する。延長戦に入る前のインターバルは5分間とし、延長戦のハーフタイムはなしとする。PK方式に入る前のインターバルは1分間とする。

懲罰

- (1) 本大会において退場を命じられた選手は、自動的に本大会の次の1試合に出場できない。それ以後の処置については、本大会規律・フェアプレー委員会で決定する。
- (2) 本大会において退席を命じられた役員は、自動的に本大会の次の1試合にベンチ入りできない。それ以後の処置については、本大会規律・フェアプレー委員会で決定する。
- (3) 本大会期間中に警告の累積が2回に及んだ選手は、自動的に本大会の次の1試合に出場できない。(各GLで受けた警告は、次のGLまたは決勝トーナメントには持ち越さない。但し、GL最終試合で2回目の警告を受けた場合、次のGLまたは決勝トーナメント1試合目には出場できない。)
- (4) 本大会終了時点で未消化となる出場停止処分は、当該チームが出場する直近のフットサル公式試合にて消化する。ただし、警告の累積によるものを除く。
- (5) 片方のチームが試合開始時に3人未満の場合は、0-3の不戦敗とする。
- (6) 試合途中に片方のチームが3人未満になった場合や、その他の理由で試合が打ち切りとなった場合は0-3、もしくは打ち切りとなった時点で0-3以上の点差がついていた場合はその結果とする。

注意事項

- (1) 各日程、第1試合のチームは、8時45分までに会場に到着し会場準備を行うこと。また、最終試合のチームは会場撤収を行うこと（10/1、10/29 高槻開催時は第1試合のチームは8時30分集合）。
- (2) キックオフ予定時刻の60分前、(各会場の第1試合は45分前)に、大会運営本部または大会運営委員会指定の場所でマッチコーディネーションズミーティング(以下、MCM)を行う。その際、①選手証、②試合毎のメンバー登録用紙(ユニフォーム欄のみ空白)、③正副のユニフォーム(FP、GK2セットずつ、合計4種類)を持参すること。
- (3) ユニフォームに広告を掲示している場合は、JFAから発行された回答書および申請書を携帯すること。
- (4) ユニフォームに貼り番号をする場合は、キックオフまでに大会運営本部で確認をとること。番号は整数の1から99を使用し、0は認めない。布貼りの場合は4辺を全て縫い付け、大会本部で許可を得たもののみ認められる。テーピング等での番号表記は認められない。
- (5) 別紙スケジュールに従い、GLと決勝トーナメント1回戦において帯同審判員1名と記録員1名、ボールパーソン2名を両チームより派遣すること。準々決勝、準決勝は記録員1名とボールパーソン2名を派遣すること。審判員は原則ユース審判員は認められない。また、帯同審判員の所属は必ず大阪府でなければならない。※1人の審判員を複数チームが帯同審判員として登録することは認められない。帯同審判員割当は、対戦表の左側のチームが第3審判、右側のチームがタイムキーパーとする。審判員証[電子登録証も可]を必ず持参すること。
- (6) 試合中に飲めるのは水のみとする。その他の飲料はフロア近辺に持ち込まないこと(観客席に置いておくこと)。飲水場所は体育館の使用規定に従うこと。水以外の飲み物を持ち込んだチームについては、それまでの戦績を没収し、棄権の取り扱いとする。また、次年度の本大会の参加を認めない。
- (7) ベンチ入りする役員は、MCM終了後からキックオフ予定時刻の30分前までに、運営本部にてADカードを受け取り、試合中は常にADカードを提示していなければならない。ADカードは試合終了後、速やかに運営本部へ返却すること。

- (8) 試合中はチーム関係者によるフロアでの写真および映像の撮影を認めない。9月24日キンチョウスタジアム練習室では、会場全面で撮影禁止となる。
- (9) 11月25日岸和田市総合体育館での決勝戦開催については、決勝進出の2チームは午前中より設営作業を行う。詳細については準決勝当日に該当チームに通知する。
- (10) ベンチでの氷のう袋の使用を認める。ただし、ビニール袋など水滴が周りに漏れるものは、飲水場所での使用のみとする。また、その使用により床やシートを濡らした場合は会場のモップを使用せず自チームで用意したタオル等で拭き取ること。
- (11) 当日提出するメンバー表は大会ホームページよりダウンロードを行い、各チームで持参してMCMにて提出すること。
- (12) ゴミは各チームで必ず持ち帰ること、また体育館の使用規定に従うこと。

その他

- (1) 優勝チームは、関西大会（2018年1月8日(月祝)：大阪市中央体育館、1月13日(土)：西宮市立中央体育館、1月20日(土)：西宮市立中央体育館）に出場する権利と義務を有する。
- (2) 優勝チームと準優勝チームを表彰する。
- (3) 準決勝進出の4チームを次年度シードとし、次年度本大会の決勝トーナメントから出場の権利を有する。
- (4) なお、決勝トーナメントに進出したチーム（10チーム）および決勝トーナメントで勝利したチームについては、試合当日、試合毎に5,000円徴収する。予選GLを勝ち上がったチームについては、1次GLにて、試合当日3,000円を追加徴収する。
- (5) 代表者会議以降の大会登録票の選手や役員の追加や変更は原則認めない。

お問合せ先

(一社)大阪府サッカー協会 大阪府フットサル連盟

メールアドレス：info@ofa-futsal.jp

※各種お問合せはメールにてのみ受け付ける。